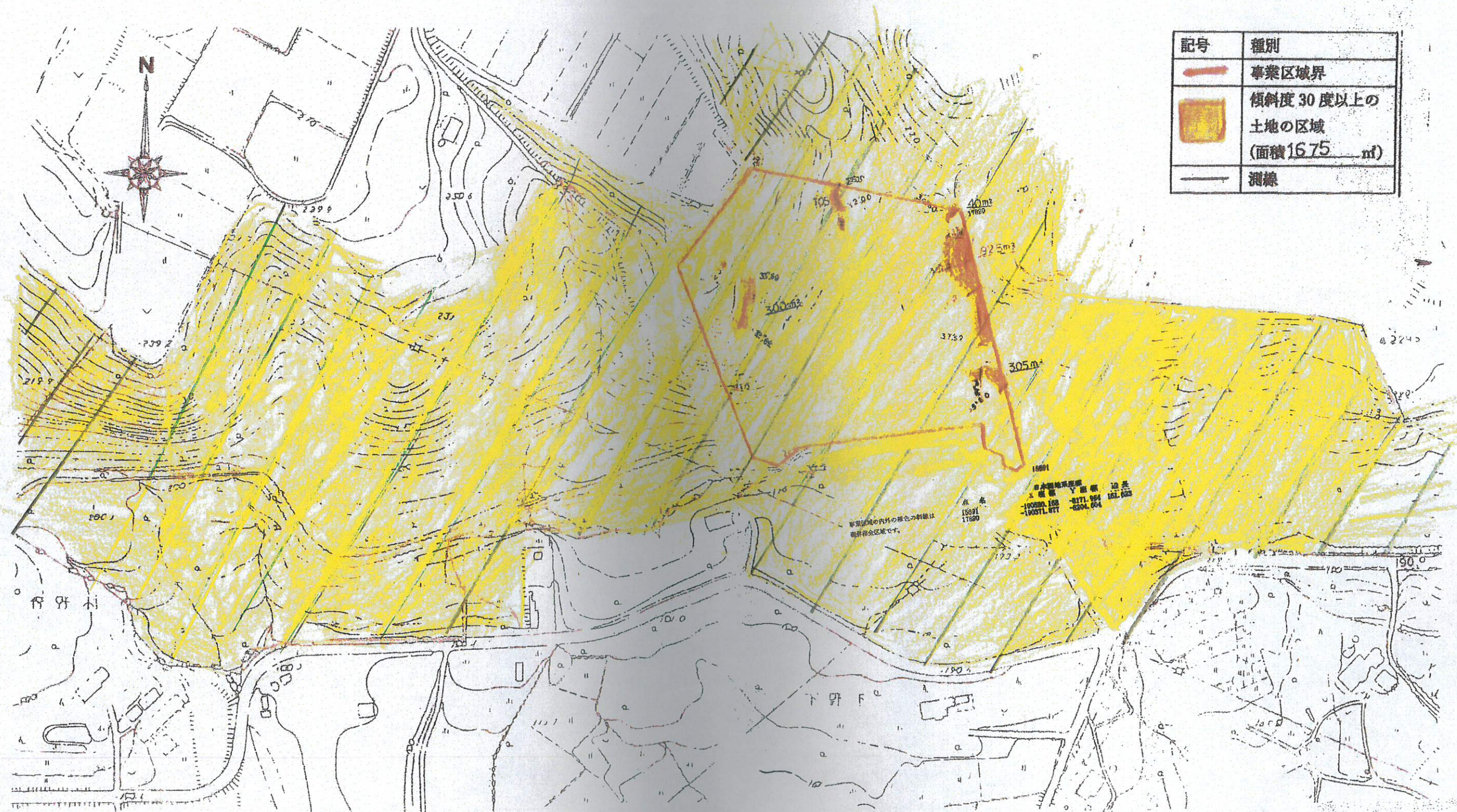




記号	種別
	事業区域界
	傾斜度 30 度以上の 土地の区域 (面積 16 75 m ²)
	測線

事業区域は(26089 m²)は 100%森林保全区域です。

	森林保全区域
	筆界
	事業区域

(2)事業区域

事業区域の内外の緑色の斜線は $S=1/2500$
森林保全区域です。



凡 例

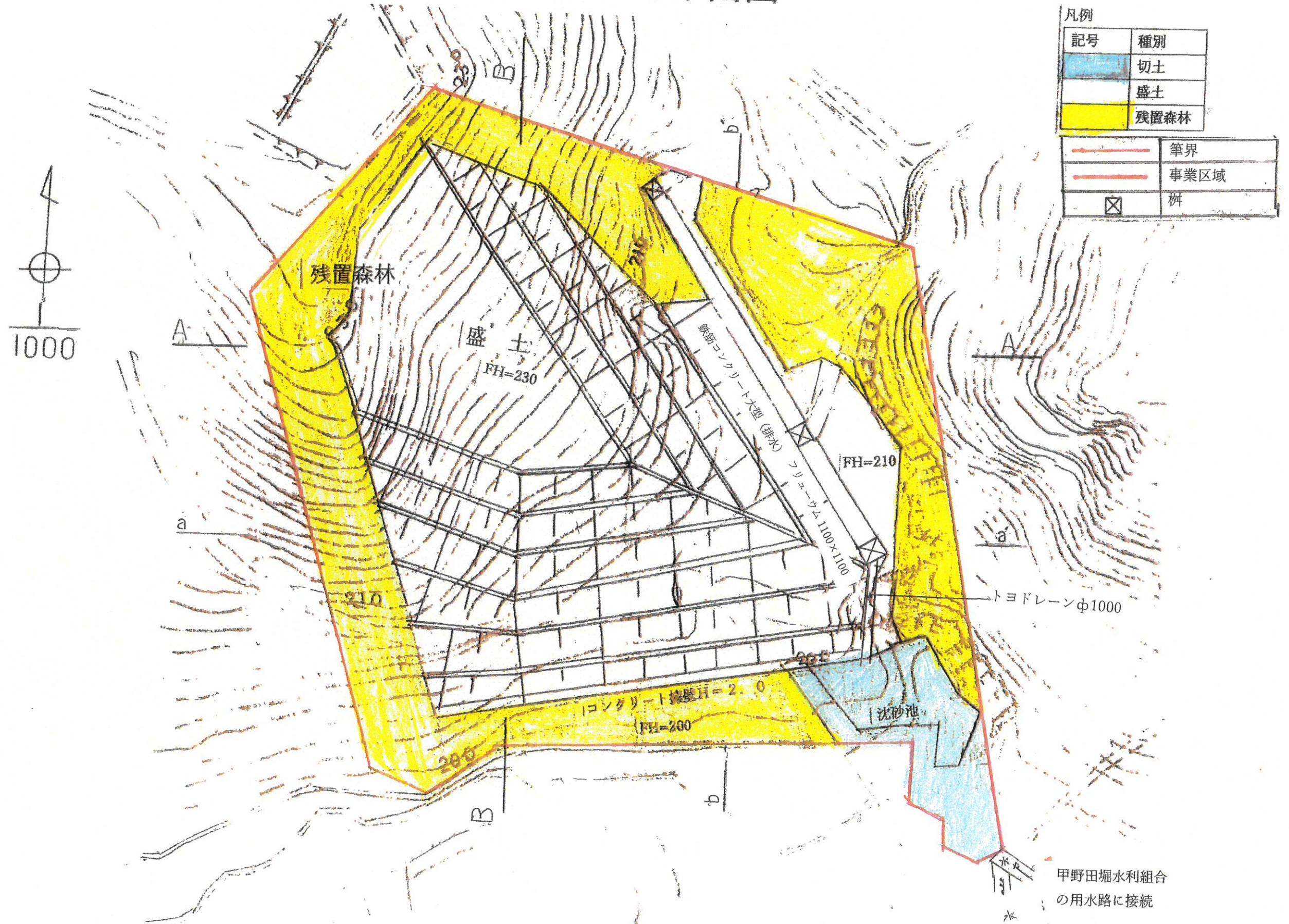
名 称		記 号
山 林	広葉樹林	
	針葉樹林	
	その他植生	
農 地	田	
	畑	
	樹 園 地	
	牧 草 地	
	その他農地	
住 宅 用 地		
商 業 用 地		
工業用地その他 建築物用地		
公 益 施 設 用 地		
道 路		
水 面		
空 地	草 地	
	裸 地	
	そ の 他	
そ の 他		
事 業 区 域 界		

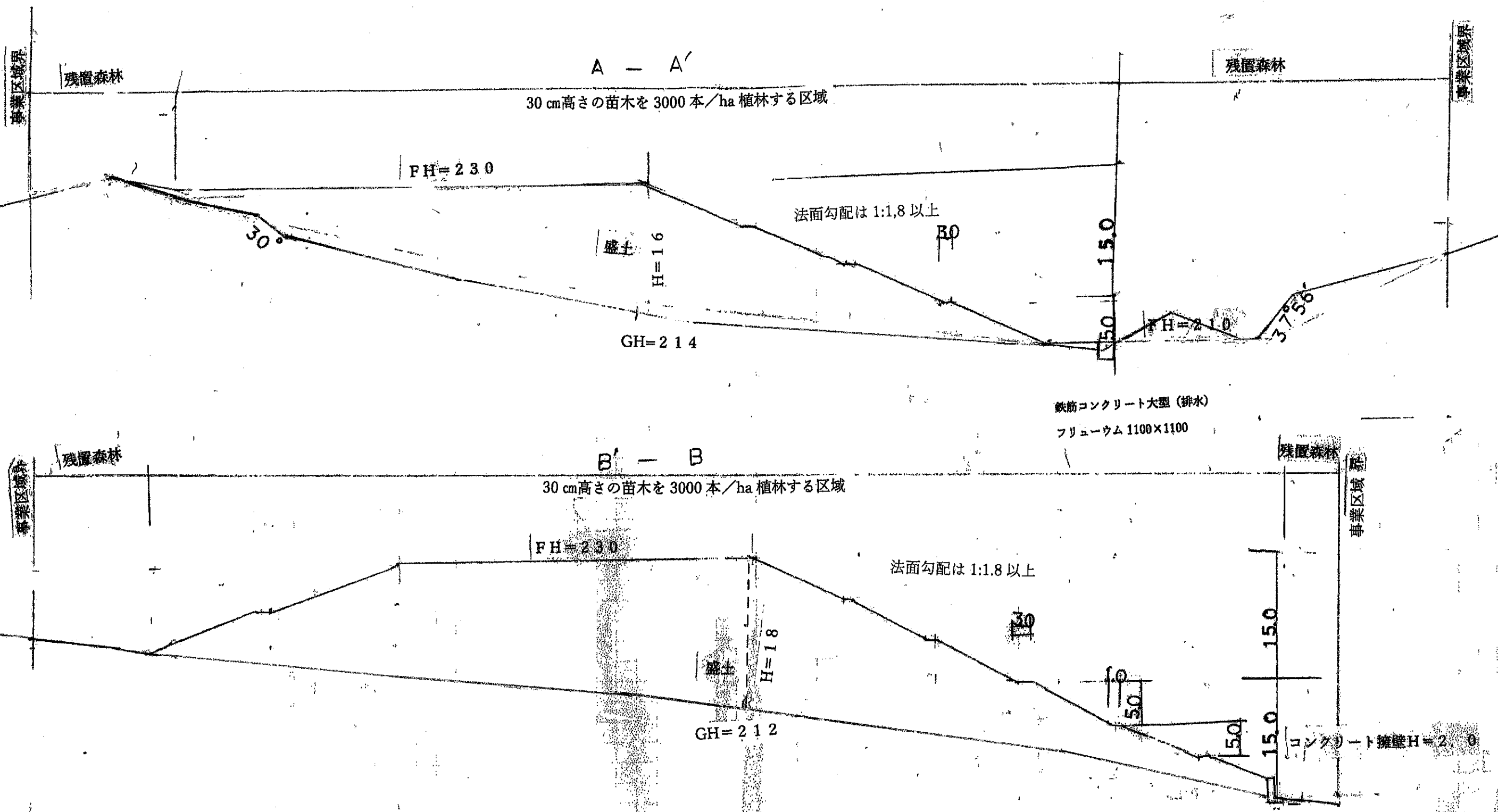
	森林保全区域
	筆界

(3)土地利用現況図

事業区域の内外の緑色の斜線は $S=1/2500$
森林保全区域です。

(4)-1造成計画平面図



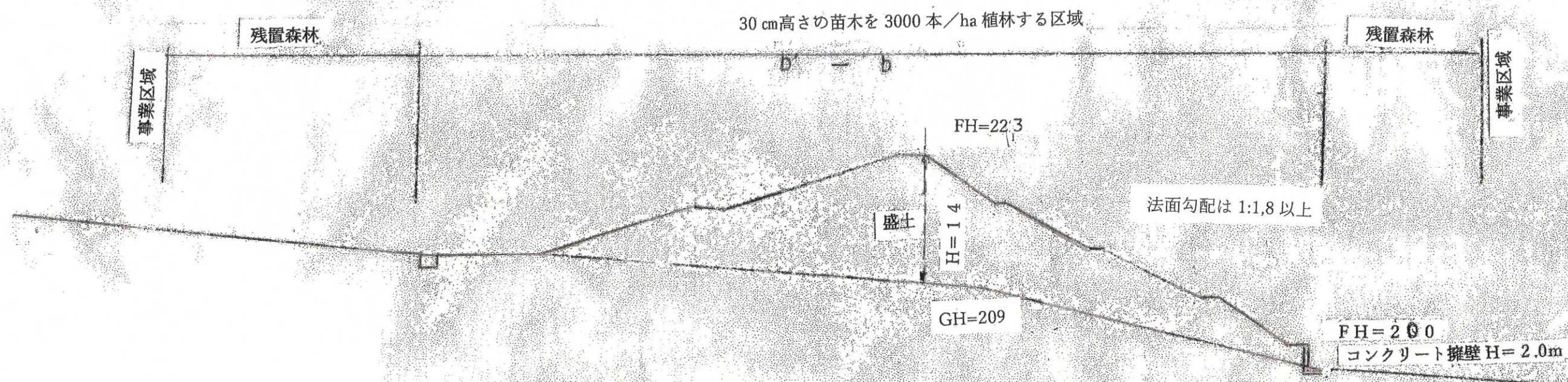
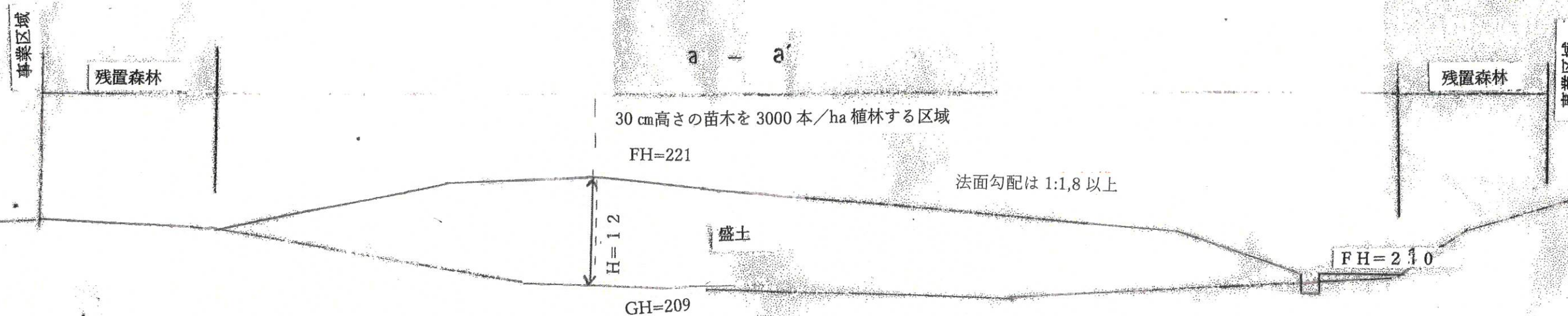


土質調査による安定計算の二次製品

(4) - 2 造成計画断面図

S=1/500

法面の勾配を記載



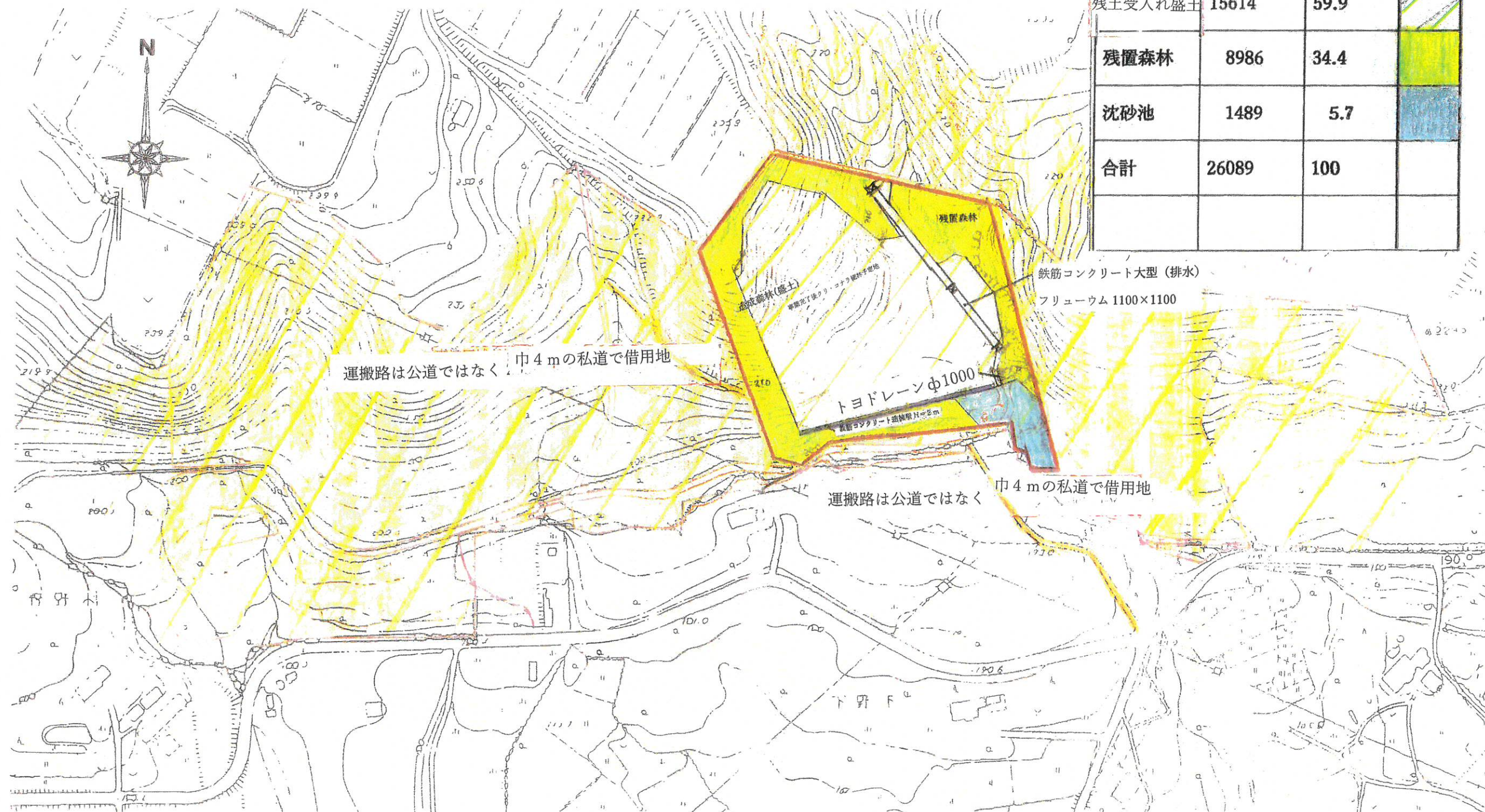
土質調査による安定計算の二次製品

(4) - 3 造成計画断面図

S=1/500

凡 例

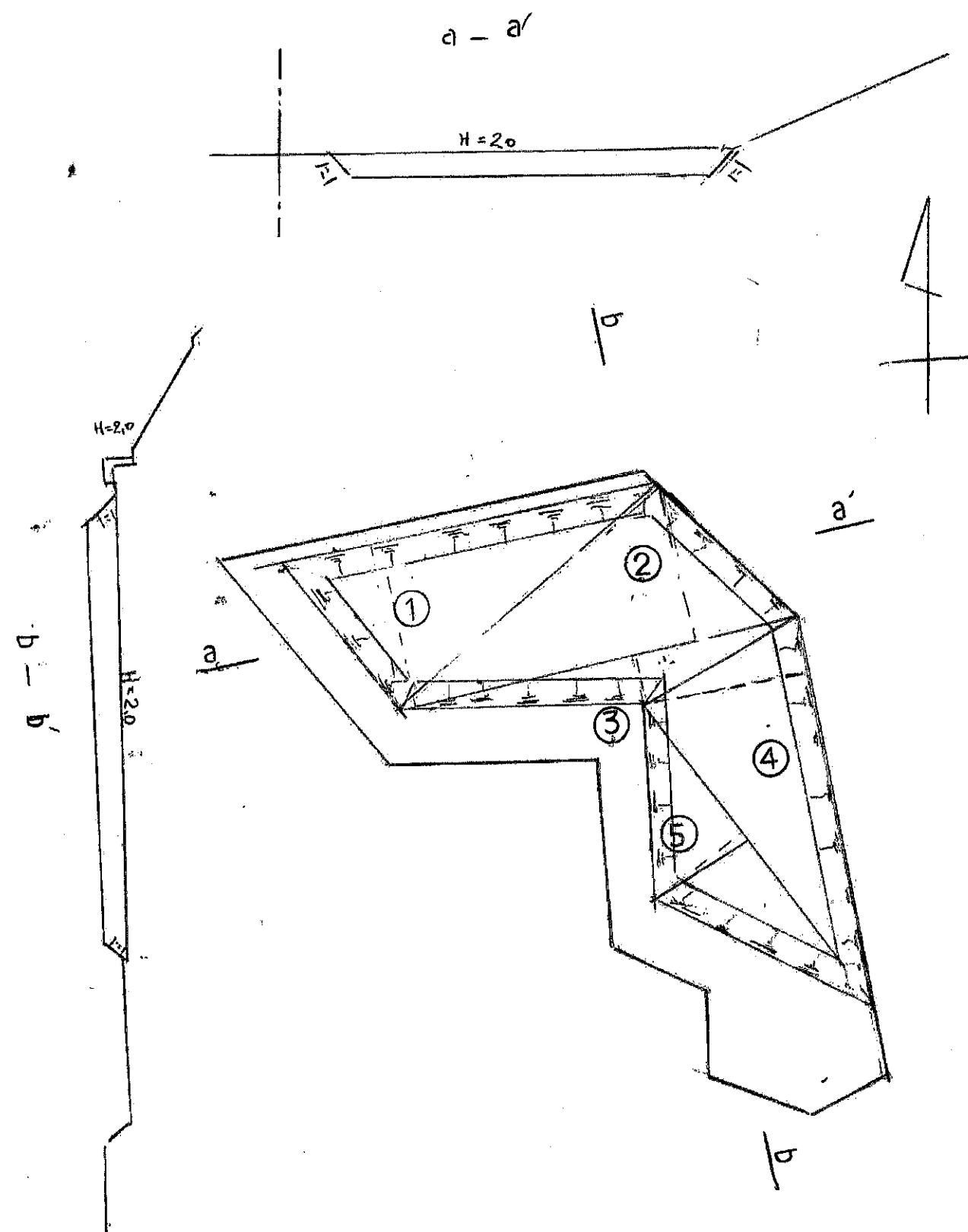
種別	面積	率 (%)	記号
残土受入れ盛土	15614	59.9	
残置森林	8986	34.4	
沈砂池	1489	5.7	
合計	26089	100	



	森林保全区域
	筆界
	事業区域
	樹

(5) 土地利用計画図

事業区域の内外の緑色の斜線は $S=1/2500$ 森林保全区域です。



$$\textcircled{1} 33 \times 15 = 495$$

$$\textcircled{2} 35.5 \times 13 = 461.5$$

$$\textcircled{3} 35.5 \times 4.5 = 159.75$$

$$\textcircled{4} 34.5 \times 14 = 483$$

$$\textcircled{5} 33 \times 10 = 330$$

$$\text{計} \quad 1446.25$$

$$\text{面積} \quad 723.125 \text{ 改め} \quad 723 \text{ m}^2 \text{ (上面積)}$$

$$\text{下面積} = 723 - 436 = 287 \text{ m}^2 \quad \text{外周長さ} \times \text{法幅} 218 \times 2 = 436$$

$$\text{深さ} \div 3 \times (\text{上面積} + \text{下面積} + \sqrt{(\text{上面積} \times \text{下面積})})$$

$$2 \div 3 \times (723 + 287 + \sqrt{723 \times 287}) = 976 \text{ m}^3$$

$$\text{沈砂池} = 310 \text{ m}^3 \times (1488 + 15613) = 530 \text{ m}^3 \quad \text{OK}$$

(6)-I 工作物

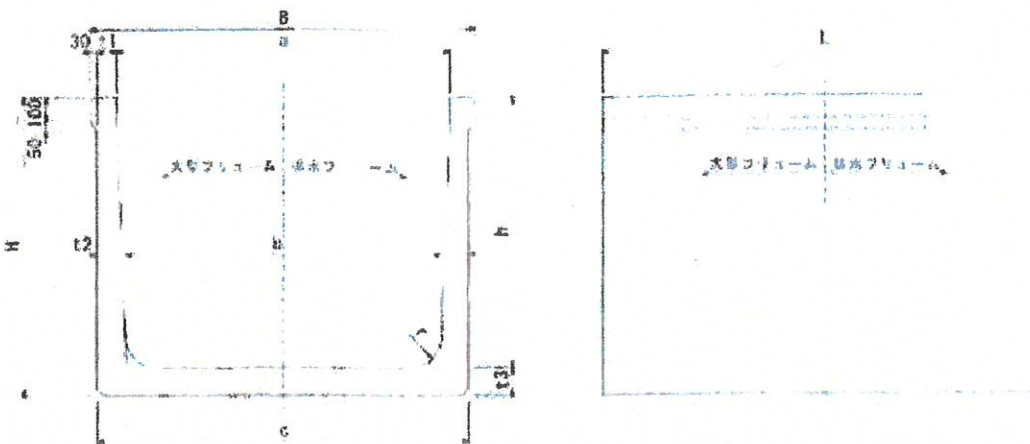
沈砂池

S=1/500

鉄筋コンクリート集水桝 1300×1300×1600

鉄筋コンクリート大型（排水）
フリューム 1100×1100

■ 鉄筋コンクリート大型（排水）フリューム(Aタイプ) 規格図



鉄筋コンクリート大型（排水）フリューム

サイズ 1100×1100~1400×2400

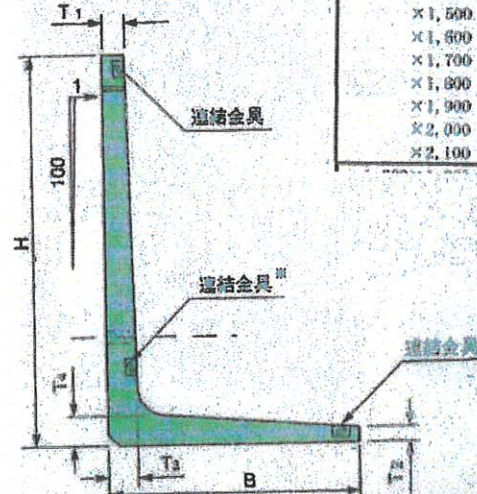
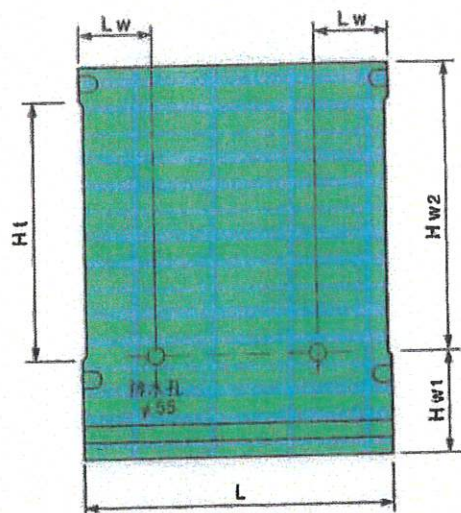
【農業土木事業協会規格】

■ 寸法・重量

呼び名	参考重量(kg)	寸法 (mm)											
b(深) × a(幅)	A(A')	B(B')	H	B	b	c	d	t1	t2, t3	t4	r	m	L
1,100×1,100	1,760	—	—	1,320	1,030	1,260	—	—	—	—	—	—	30
×1,200	1,820	—	—	1,420	1,130	1,360	—	—	—	—	—	—	—
×1,300	1,870	—	—	1,520	1,230	1,460	—	—	—	—	—	—	—
×1,400	1,920	1,980	—	1,620	1,330	1,560	1,660	—	—	—	—	—	—
×1,500	1,980	2,040	—	1,720	1,430	1,660	1,760	—	—	—	—	—	—
×1,600	2,030	2,090	215	1,820	1,530	1,760	1,860	80	115	50	—	—	—
×1,700	2,080	2,150	—	1,920	1,630	1,860	1,960	—	—	—	—	—	—
×1,800	2,140	2,250	—	2,020	1,730	1,960	2,160	—	—	—	—	—	—
×1,900	2,190	2,310	—	2,120	1,830	2,060	2,260	—	—	—	—	—	—
×2,000	2,250	2,370	—	2,220	1,930	2,160	2,360	—	—	—	—	—	—
×2,100	2,300	2,420	—	2,320	2,030	2,260	2,460	—	—	—	—	—	—

鉄筋コンクリート造擁壁 H=2 m

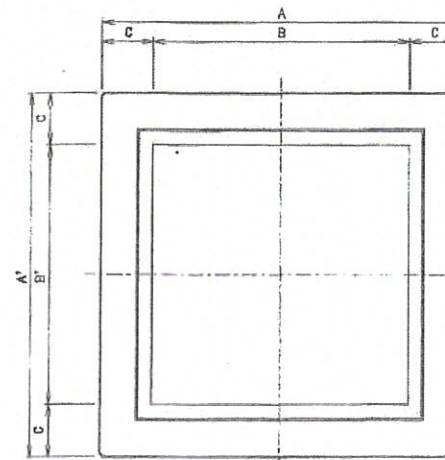
S=1/4 0



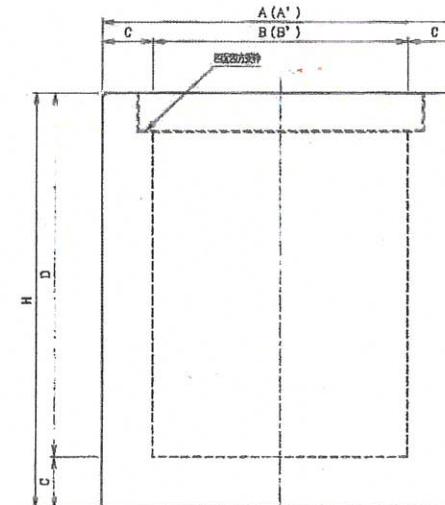
桷

規格図

平面図

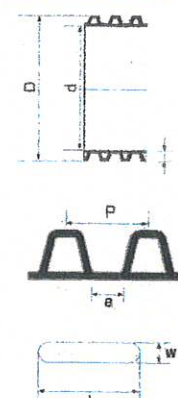


側面図



製品規格〔参考寸法〕

呼び名	外径(D)	内径(d)	高さ(H)	寸法(a)	寸法(b)	寸法(c)	寸法(d)	寸法(e)
TDW 50	60	50	—	2	8	5	9	1
TDW 60	70	60	—	3	9	5	9	2
TDW 65	76	65	—	3	10	6	10	2
TDW 75	87	75	—	4	11	6	10	2
TDW 100	118	100	4	5	15	9	16	2
TDW 150	175	150	—	7	25	13	10	3
TDW 200	235	200	—	10	33	18	17	3
TDW 250	290	250	—	21	38	20	20	4
TDW 300	365	300	—	25	61	33	28	6
TDW 350	426	350	—	29	70	38	32	7
TDW 400	485	400	—	32	79	43	36	8
TDW 450	546	450	—	36	88	48	40	9
TDW 500	614	500	—	37	88	57	40	10
TDW 600	707	600	5	50	90	54	—	—
TDW 700	858	700	—	57	140	79	—	—
TDW 850	973	800	—	64	158	87	—	—
TDW 900	1096	900	—	72	175	98	—	—
TDW 1050	1219	1000	—	76	193	110	—	—



(6) —2 工作物
断面図

製品呼称	製品寸法 (単位 mm)						参考重量 (kg)
	A	B	A'	B'	C	D	
1100×1100×1000H	1400	1100	1400	1100	150	1000	2453
1100×1100×1600H	1400	1100	1400	1100	150	1600	3515
1200×1200×1200H	1500	1200	1500	1200	150	1200	3077
1200×1200×1600H	1500	1200	1500	1200	150	1600	3839
1300×1300×1000H	1600	1300	1600	1300	150	1000	2948
1300×1300×1600H	1600	1300	1600	1300	150	1600	4172

呼び名	H	B	L	T1	T2	T3	T4	Hw1	Hw2	Ht	Lw	連結金具	参考重量
mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm	個	kg
750	750	550	2,000	102.5	100.0	109	100	525	225	350	525	4	600
1000	1,000	700		100.0	100.0	109	100	525	475	600	525	4	800
1250	1,250	850		105.5	105.2	130	130	525	725	750	525	4	1,140
1500	1,500	1,000		100.0	100.0	130	130	525	975	1,000	525	4	1,340
1750	1,750	1,150		108.2	107.9	160	160	625	1,125	1,050	475	6	1,820
2000	2,000	1,300		100.0	100.0	160	160	625	1,375	1,300	475	6	2,020
呼び名	H	B	L	T1	T2	T3	T4	Hw1	Hw2	Ht	Lw	連結金具	参考重量
mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm	mm	個	kg
750	750	600	2,000	102.5	100.0	109	100	525	225	350	525	4	630
1000	1,000	750		100.0	100.0	109	100	525	475	600	525	4	820
1250	1,250	900		105.5	103.5	130	130	525	725	750	525	4	1,170
1500	1,500	1,050		100.0	100.0	130	130	525	975	1,000	525	4	1,360
1750	1,750	1,200		108.2	105.3	160	160	625	1,125	1,050	475	6	1,850
2000	2,000	1,350		100.0	100.0	160	160	625	1,375	1,300	475	6	2,040

(7)移動経路図

1:10000

主要地方道定義 仙台線

事業区域

巾4mの私道で借用地

青葉区 6305 赤坂中山線

青葉区 6306 下野青野木線

中山

青葉区 5388 中山線

青野木

柿崎

老人大堀

国道48号線

道六神

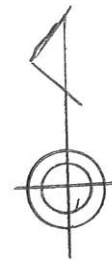
松原

倉内



(8)求 積 図

S=1/1000



洗砂池

あ	50×12=	600
い	50×16=	800
う	39×5=	195
え	32×9=	288
お	33×10=	330
か	40×15=	600
き	18×6=	108
く	14×4=	56

合計 2977

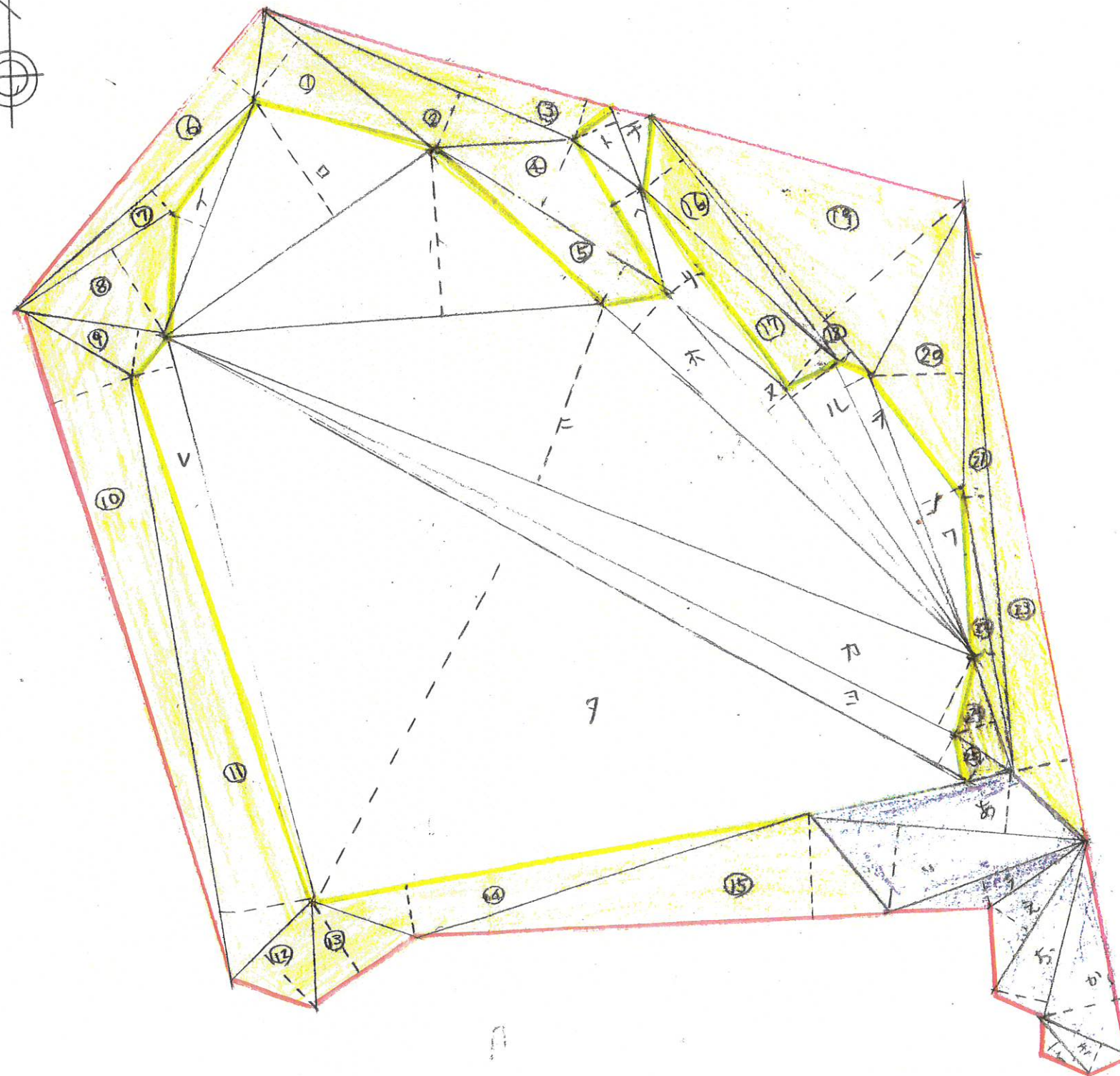
面積 1488.5 m²

造成森林(盛土)

イ	46×7=	322
ロ	60×26=	1560
ハ	82×31=	2542
ニ	162×35=	5670
ホ	95×10=	950
ヘ	34×6=	204
ト	16×9=	144
チ	16×7=	112
リ	47×7=	329
ヌ	88×5=	440
ル	60×11=	660
ヲ	60×6=	360
ワ	56×9=	504
カ	164×14=	2296
コ	171×6.5=	1111.5
タ	171×77=	13167
レ	107×8=	856

合計 31227.5

面積 15613.75 m²



残置森林

①	41×13=	533
②	62×11=	682
③	67×8=	536
④	50×14=	700
⑤	50×8=	400
⑥	72×8=	576
⑦	58.5×5=	292.5
⑧	33×19=	627
⑨	28×9=	252
⑩	129×16=	2064
⑪	112×17.5=	1960
⑫	21×15=	315
⑬	22×16=	352
⑭	93×10=	930
⑮	87×19=	1653
⑯	57×9=	513
⑰	48×10=	480
⑱	63×3=	109
⑲	63×33.5=	2110.5
⑳	54×17=	918
㉑	105×5=	525
㉒	52×3.5=	182
㉓	120×10=	1200
㉔	22×7=	154
㉕	①②×6=	72

合計 17972

面積 8986 m²

様式第2号

開 発 事 業 計 画 書

令和8年 4 月 7 日

仙台市長 郡 和子殿

住 所 仙台市青葉区芋沢字青野木 256 番地

氏 名 株式会社ランド

代表取締役 太田 真紀子

杜の都の風土を守る土地利用調整条例第11条第1項（第17条第2項、第18条第7項、第21条第2項、第24条第1項）の規定により、次のとおり提出します。

開発事業の名称	ランド芋沢字青野木建設発生土埋め立て事業		
種別：	区画形質の変更 水面の埋立等 工作物の新築・改築・増築・移転・用途の変更・構造等の変更 その他（ ）		
開発事業の目的	残土受入処分場としての事業。		
開発事業の内容	現況は森林であり開発面積は約 2.6ha でありその内残地森林として 0.9ha 確保して、約 10 万㎡の残土処理事業を行い埋め立て完了時には森林に復旧するものである。		
事業区域の位置	仙台市青葉区芋沢字青野木 265-2 の一部		
事業区域の面積	26,089 ㎡	樹林地の有無： ☒ 有 26,089 ㎡	
建築物その他の工作物の概要	工作物の用途	—	
	工作物の規模	建築(築造)面積：— 高さ：—	
	著しく環境を悪化させるおそれがある工場等の有無	有	☒ 無
	水濁法特定事業場の有無	有 (排出水量：)	☒ 無
	水濁法有害物質使用特定事業場の有無	有	☒ 無
	一般廃棄物処理施設の有無	有	☒ 無
	産業廃棄物処理施設の有無	有	☒ 無
	ダイオキシン類対策特措法特定施設の有無	有	☒ 無
事業計画の作成に	1. 当該申請地に農業用水路が存在し撤去することは出来ないで計画に適合する U 型側溝を設置し下流に現存する水路敷へ放流する事。		



事業計画の作成に際し適正かつ合理的な土地利用を図る上で留意した事項	U型側溝を設置し下流に現存する水路敷へ放流する事。		
	2. 事業完了後は造成森林を行い林地とし復元すること。		
事業区域内に確保する緑地	面積：24,600 m ²	事業区域内に残置する森林	面積：8,986 m ²
	率：94.2 %		率：34.4 %
斜度 30 度を超える土地の有無	(有) 無 1,675 m ² (内 300 m ² 残土地域内)		
汚水及び雨水の放流先、処理施設の有無、並びに処理施設の概要	汚水：無い 雨水：農業用水路が存在しているので、U型側溝を設置し開発区域内の終端の沈砂池を通過して、既存の水路敷に放流する。		
開発事業の実施にともなう発生集中が見込まれる自動車交通量	1日当たり 40 台(大型ダンプ) 片道 根拠：10 分に 1 台とし、1 時間当たり 6 台となり 7 時間稼働＝42 台(日)		
事業区域内の給水に係る取水計画の概要	給水利用計画なし		
開発事業の実施に際し必要と見込まれる許認可等の名称	林地開発許可 宅地造成及び特定盛土等規制法による許可		
連絡先	住所	仙台市若林区沖野 3-6-60	
	担当者	所属：大江事務所 氏名：大江勝雄	電話：09067879593 Fax：022-282-6242

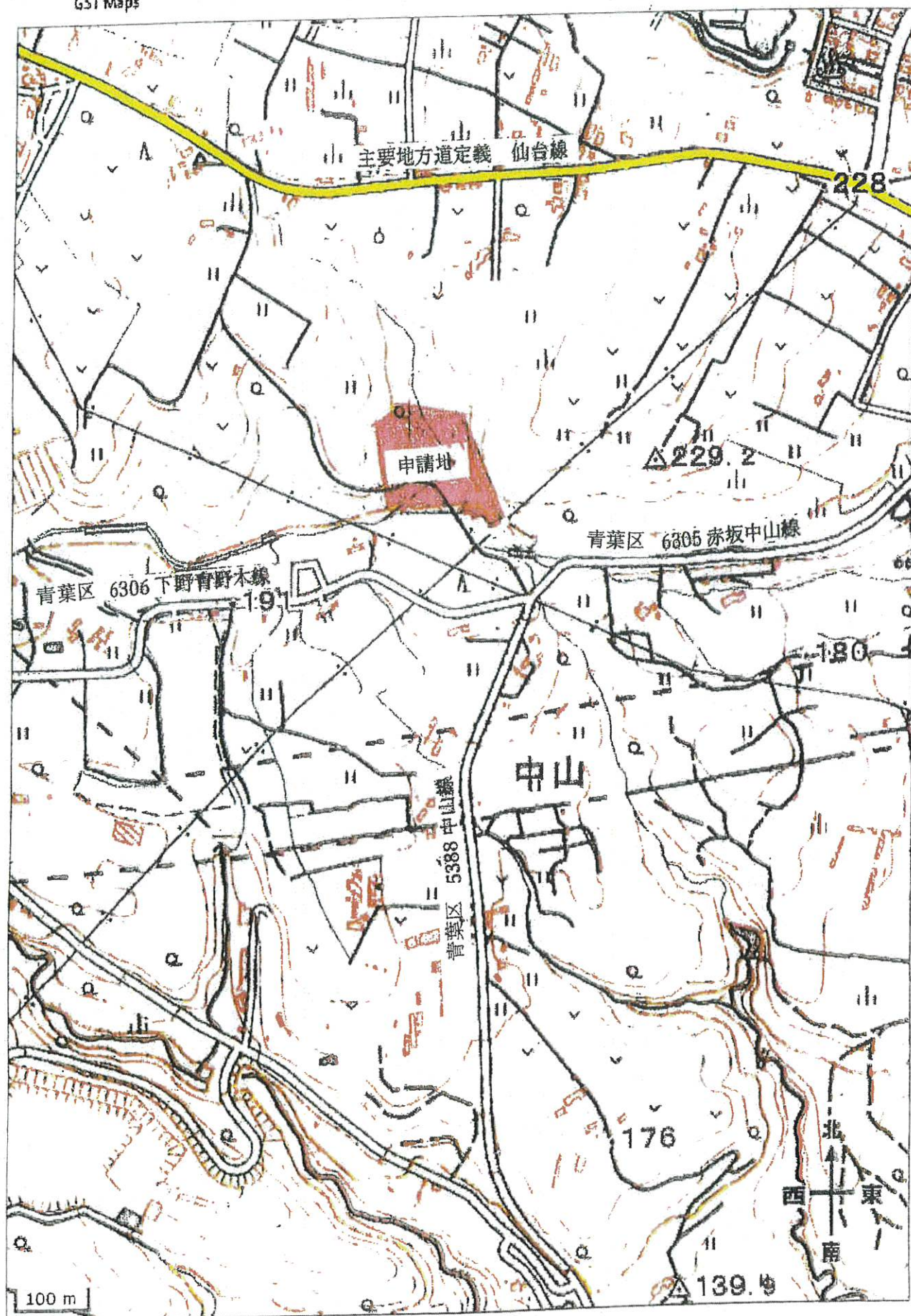
備考

1 添付図面

- (1)事業区域の位置を明らかにした縮尺 1：10,000 以上の位置図
 - (2)事業区域の区域を明らかにした縮尺 1：5,000 以上の地形図
 - (3)事業区域における土地利用の現況を明らかにした縮尺 1：5,000 以上の地形図
 - (4)造成計画の概要を明らかにした縮尺 1：5,000 以上の平面図及び断面図
 - (5)事業区域における土地利用計画の概要を明らかにした縮尺 1：5,000 以上の平面図
 - (6)設置を予定する工作物の種別、規模その他の概要を明らかにした縮尺 1：2,500 以上の平面図及び立面図
 - (7)発生集中自動車交通に係る主要な移動経路を明らかにした縮尺 1：10,000 以上の平面図
- 2 事業区域内の土地の登記事項証明書(写しで可)および借地等の場合は所有者の同意書を別途提出すること
 - 3 再生可能エネルギー発電事業については、事業者の住民票(法人である場合はその登記事項証明書)、資金計画書及び事業経歴書を別途提出すること
 - 4 本条例の手続きについて事業者以外に委任する場合には、事業者より委任状を別途提出すること
 - 5 用紙の大きさは、添付図面については日本工業規格 A3 とし、それ以外のものについては A4 とすること

位置図

GSI Maps



S=1/7400